

No.1941

11月30日例会 プログラム 「忘年家族例会」 於：ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル

12月7日例会 プログラム 「職場訪問例会」 於：駅東創庫 Gallery Minato

11月30日のメニュー ・フルコースディナー（テーブルマナー）

前回（11月16日）例会記録

| | | | | | | | | | | |
|------|-------|--|------|-----|------|----|-----|--------|-------|--------|
| 出席報告 | 会員総数 | 36名(内出席規定適用免除者2名) | 出席者数 | 25名 | 欠席者数 | 9名 | 出席率 | 73.53% | 前回補正率 | 79.41% |
| | 前回補正者 | 藤田君 高橋(秀)君 | | | | | | | | |
| | 欠席者 | 藤原君 花岡君 井上君 三宅(照)君 仲田君 中山君 大久保君 富永君 山田(次)君 | | | | | | | | |

来訪者 近藤 準子様（スクールカウンセラー・青少年教育）

会長挨拶

先ず、お客様の紹介を致します。スクールカウンセラーの近藤準子様です。ようこそいらっしゃいました。

11月14日の山陽新聞に、海砂採取で荒れた備讃瀬戸海底の砂場を修復する実証実験が始まったとの記事がありました。備讃瀬戸の海砂はコンクリート骨材などに使う為、2003年に岡山県、2005年に香川県が禁止するまで、約3.2億立法メートルの砂が採取されました。これは、甲子園球場800個分の広さを10メートルの深さに掘った量に相当します。海砂の大量採取は、海底の地形を変え、生態系に悪影響をもたらし、魚種と稚稚魚が極端に減少しました。そこで、倉敷市・水島港の航路しゅんせつで出る、高梁川が運んだ良質の土砂を、8～10月にかけて、児島地区の5キロ沖、水深20メートル前後の海底に、約3.5ヘクタールに5万立法メートルを投入しました。現在はまだ投入場所の環境調査が始まったところですが、昔の綺麗な海になり、魚が戻ってくる事が期待されます。

来訪者挨拶 近藤 準子様（スクールカウンセラー・青少年教育）

この度、「海より上 屋根より下」という青少年問題に取り組んでいる映画を玉野市で上映する運びとなりました。この映画は、親子問題を取り上げて、岡山市に在住の方が監督をされて作られた実話です。テーマは“家族とは何か”“親とは子供とは”という事を、子供の目線で捉えた作品です。一人でも多くの方に見て頂きたく、RCのご協賛も頂きました。宜しくお願い致します。

*日時：12月2日(日)10:00～、12:30～、15:00～ 玉野産業振興ビル3階 入場料：500円



幹事報告

- ・ たまの人形劇フェスティバル実行委員会より12月2日(日)同会開催の案内及びチケットを頂きました。
- ・ 森下ガバナー事務所よりガバナーノミニー候補者推薦の依頼(2010 - 2011年度ガバナー)が届いております。
- ・ 小西ガバナー補佐よりIM開催のご案内と全員登録のお願い及びクラブ訪問日程についての依頼が届いています。IMは2008年1月27日(日)そしてクラブ訪問につきましては12月14日を希望する予定です。
- ・ 森下ガバナー事務所より鳥居滋ガバナー・エレクト壮行会(12月22日)の案内が会長・幹事及び次期会長・幹事宛に届いています。
- ・ ハイライト米山93号が届いていますので回覧させていただきます。
- ・ 第10・11グループ ガバナー補佐よりIMでのパネリスト推薦のお願い及び第1回打ち合わせ会の案内が届いています。パネリストについては、あらためてどなたかを推薦させて頂きたいと思います。
- ・ 他クラブの週報・例会変更通知は回覧させていただきます。

委員会報告

- ・ 親睦・家族委員会(三宅孝治委員長):《忘年例会について》11月30日(金)マリンホテルにて。テーブルマナー教室で行います。

スマイル・ボックス

- ・松尾会長 - 近藤準子様歓迎。
- ・谷口幹事 - 近藤さん、ようこそいらっしゃいました。 三宅照正会頭
- ・三宅(保)君 - 三宅照正様、商工会議所会頭就任おめでとうございます。
- ・立石君 - 三宅会頭おめでとう。
- ・山田(孝)君 - 三宅照正新会頭。
- ・大西君 - 三宅照正さん、会頭ご就任お祝い。
- ・藤田君 - 三宅照正さん、会頭ご就任おめでとう。藤原侃さん、長年会頭を務められ、ご苦労様でした。 先週欠席。
- ・岸本君 - 周年記念事業のご意見が5人しか出ていません。まだの人は事務局へお願いします。
- ・浅羽君 - 病院機能評価に合格しました。
- ・石川君 - 卓話をさせていただきます。
- ・林君 - 早退。

プログラム 「ハワイの話し」 石川勝幸君

今回は、ハワイについての話をリクエスト頂きましたので自分が感じたハワイについてお話しさせていただきます。

僕がハワイに行ったのは、32歳の時でした。それから7年間、皆さんご存知のホノルル空港があるオアフ島から飛行機で30分の、ハワイ州、第2の大きさを持つマウイ島にいました。実に石川が一番長く住んだ場所であったわけです。

日本人の方でハワイと言うと、先ず思い浮かべるのは、ワイキキビーチの風景だと思います。ワイキキビーチは、先程のホノルル空港と同じオアフ島にあり、殆どその周辺では日本語が通じます。これは1885年にさかのぼり、当時のカラカウア王がその労働力として移民を呼び寄せ、日本との移民条約を結び、正式な移民が開始された事に関係があります。沖縄、九州の日本人が多く移民をされ、現在は4世~5世にもなりますので、ハワイでの日本文化の浸透もかなりの物です。日本の観光地として発展を遂げたワイキキは、このような文化に支えられた為に日本語が当たり前のように話せるのだと思います。例えば、ハワイのお魚で「ONAGA」と呼ばれているのは、日本でも尾長鯛ですし、ハワイの人はお醤油を愛し、お箸も小さい頃から上手に使います。盆踊りもしますし、和太鼓も打ちます。ハワイでも、日本文化の継承は続いております。

しかし、ある調査によると、日系住民の比率は1958年が35%で全住民比率のトップでしたが、1996年調査では20%になり、第4位まで落ちている様です。これは、混血住民が増えた事と、戦争の影響が関係していると考えられております。先程話させて頂いた日本からの移民の方たちは、苛酷な労働条件のもとで必死に働き、日本人社会を築きそしてその子供たちが2世として育っていったのです。1914年に始まった第一次世界大戦ではハワイ出身の兵士も参戦するなどして文字どおり「アメリカのハワイ」となっています。1941年には真珠湾攻撃による第二次世界大戦が勃発。日系人たちへの身柄拘束などがありましたが日系2世を中心とした第100連隊、第442連隊のヨーロッパ戦線での活躍によって、戦後日系人のハワイでの社会的地位は飛躍的な向上を遂げます。僕も実際に、日系3世のおばあ様と話す機会があり、色々な話をお聞きしましたが、涙が自然と出て来てしまう様な、真実のお話しでした。そのような世界情勢の中で苦しみ頑張ったからこそ、母国の文化を守っていく気持ちは、日本より強いかも知れません。我々も見習わなくてはならないと思います。

人は、皆、和やかで、どこであっても知らない人でも「ハイ」と気さくに声を掛けてきてくれます。映画のようなパイオレンスは全く無く、安全で静かな場所です。パトカーは日本より多く見かけられると思うぐらい治安はしっかりしております。近年に於いては、アメリカ本土からの移住者が増え、悪化傾向にあるようですが、それでも日本よりは安全かなと思います。

ただ、仕事となるとその島民性は逆効果で、「ハワイアンタイム」と言われる言葉に代表されるスローテンポな人達は、全く緊張感が無く、時間を守りません。この時間的な問題を自分なりに理解するだけでもかなりの時間が掛かりました。原住民であるハワイアンを保護するという意味も加わって、地元ユニオンは非常に力が強く、平等性の基、日本より年功序列がはっきりしていました。アメリカで働くというと、その当時の自分は、実力主義でいくらかでも出世出来る、アメリカンドリームを掴むチャンスがあると考えていたので、この年功序列に気付いた時は落胆しました。出来る社員にチャンスを与えてあげられないのです。今思えば、この事が、日本に帰って来いと言われた時に、安堵感を覚えてしまった一つのきっかけになっていたと思います。

話したらきりが無いのですが、最後に一つ。現在の日本に於いての欧米化を皆さんはどうお考えでしょうか。色々な考え方があると思いますが、僕には、日本が欧米の良い所ばかりでなく、悪い所も取り入れていっている様に思います。日本人が大切にしてきた「人格主義」から欧米の「個性主義」に着目しすぎていませんか。建国200年のアメリカは最初の150年間で「人格主義」で、現在に至るまでの50年間で「個性主義」であったとされております。そのアメリカは、今、アジアに再び「人格主義」を学ぼうとしていると聞きます。そして、ある調査では、すでにアジアの代表は日本では無くなっておりません。日本もまた一度考える必要があるのではないかなと思います。

堅い話になってしまいましたが、マウイは良い所なので、出来たら皆さんと一緒に行けたらなと思います。